

オープン市場短信 (2009年5月)

2009.5.19

◆4月のCP市場動向

4月のCP新規発行額は約4兆100億円で、期落ち(約4兆1,800億円:当月発行分含む)とほぼ同額の発行があった(除く、金融機関発行CP・ABCP)ものの、当月中に償還を迎えるショートターム物の発行(約5千億円)が多かったこともあり、結果的には月末残高は大幅減少した。

年明け以降、日本政策投資銀行のCP買入れや日銀の企業金融支援等の政策効果などで、1~2月の早い時期から年度末越え資金を予防的に厚めに積み増していた企業の資金調達ニーズが、期明け以降大きく後退したことが発行残高の減少に影響したと思われる。

この発行減少もあって、一般事業法人の発行レートは月中を通じ弱含み地合いとなった。短国新発レートを下回る水準での「官民逆転」現象が、先月に引き続き最上位格付け銘柄や一般格付け銘柄でも見られた。リース・その他金融銘柄は、一旦発行増によりレートが若干強含みとなったが、下旬以降日本政策投資銀行の第2次危機対応業務のCP買入れがスタートしてからは、低下する動きとなった。

4月の新発物出合いは、最上位銘柄(a-1+格)3M物0.172~0.210%、一般事業法人(a-1格)3M物0.198~1.800%、その他金融銘柄(a-1格)3M物は、0.321~0.650%での出合い。

《格付け別の発行レート》

4月のCPレートレンジ

(単位 %)

格付	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月
a-1+(オペ適格)	0.129% ~ 0.190%	0.160% ~ 0.200%	0.172% ~ 0.210%
a-1(オペ適格)	0.170% ~ 0.770%	0.190% ~ 1.600%	0.198% ~ 1.800%
a-1+(リース銘柄)	0.160% ~ 0.188%	0.184% ~ —	0.200% ~ 0.260%
a-1(リース銘柄)	0.315% ~ 0.665%	0.303% ~ 0.440%	0.321% ~ 0.650%
a-2	0.209% ~ 0.995%	0.650% ~ ケ1.50	0.780% ~ ケ2.00

《CP オペ》

日銀は、9回のCP買い現先オペ期日ロールを淡々と実施した。戻り玉の多かった中旬の実行分で応札額は膨らんだが、全体的に落ち着いた応札状況であった。

CP買入れオペは、前月同様ディーラーの売却したい銘柄が減少したことや新規発行レートの低下が影響し、各回とも未達となっていた。但し、4/17オフア一分ではラインが空いた銘柄が多かったためか久しぶりに1千億円台の落札となった。

日銀CP買い現先オペ実績

(単位:億円)

実施日	実行日	期日	オファー金額	応札額	落札額	足切レート	平均落札レート	按分比率
4月2日	4/6	～ 4/20	4,000	4,415	3,960	0.100%	0.107%	74.60%
4月7日	4/9	～ 4/23	4,000	4,640	3,970	0.100%	0.106%	72.80%
4月9日	4/13	～ 5/25	4,000	5,610	3,970	0.100%	0.105%	56.00%
4月14日	4/16	～ 5/14	4,000	7,770	3,960	0.110%	0.116%	53.50%
4月16日	4/20	～ 5/7	4,000	7,390	3,970	0.120%	0.126%	41.80%
4月21日	4/23	～ 5/21	4,000	6,680	3,980	0.120%	0.130%	38.30%
4月23日	4/27	～ 6/8	4,000	5,769	3,965	0.110%	0.121%	26.20%
4月27日	4/30	～ 5/28	4,000	5,530	3,980	0.100%	0.126%	21.30%
4月30日	5/7	～ 5/18	4,000	6,730	3,970	0.100%	0.119%	11.70%

日銀CP買い入れオペ実績

(単位:億円)

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取 利回り較差	平均落札 利回り較差	按分比率
4月10日	4月15日	3,000	190	190	0.000%	0.009%	—
4月17日	4月22日	3,000	1,573	1,413	0.000%	0.002%	—
4月24日	4月30日	3,000	660	660	0.000%	0.000%	—

(注)残存期間1か月以内の下限利回りは0.300%、1か月超3か月以内の下限利回りは0.400%。

《ABCP》

4月末のABCP発行残高は、約3兆3,861億円と前月比約7,228億円の大幅減少となった。前年同月(約4兆4,942億円)比でも、約1兆1,080億円の大幅減少であった。

《短期社債残高》

証券保管振替機構発表によると、短期社債の4月末発行残高は前月比1兆1,299億円の減少となり、約17兆8,631億円となった。17兆円台の月末残高は、平成17年5月に約13兆7,466億円を記録して以来、初めての低い水準であり前年同月(20兆8,527億円)と比べ約3兆円の大幅減少であった。

各業態別では、前月比一般事業法人で6,515億円、金融機関283億円、ABCP7,228億円の減少となり、リース会社等その他金融法人のみ2,727億円の増加となった。

格付け別では、最上位格付けが前月比2,361億円減、一般格付け(a-1格相当)が2,517億円減となった。

スタンダード・チャータード銀行、サントリーHD、東海東京HDの3社が初発行を行ない、発行登録企業488社中既発行企業は474社になった。

《現先市場》

月中現先レートは、4月の積み最終日前後と月末・連休越えが0.15%を上回るレートで出合ったほかは、0.15%割れの落ち着いた出合いであった。月中平均レートは、0.1436%

であった。

◆ 5月のCP市場動向

5月中のCP償還額は約3兆9,100億円で、前年同月の4兆4,700億円を大幅に下回っている（除く、金融機関発行CP・ABCP）。期明けから、発行が減少しているのが影響していると思われる。発行環境は、先月同様政府・日銀の企業金融支援政策の影響を受け、一般事業法人（a-1格付け）においても短国レートを下回る出合いが続出し、今月も発行レートの低位安定状態が継続している。19日現在、発行レートは3M物で最上位格付けでは0.16%台を記録し、一般事業法人（a-1格銘柄）でも0.18%割れでの出合いが確認されている。その他金融では、0.30%前後から0.40%近辺となっている。

25日以降、賞与手当てや納税支払い準備の為、発行が増加するようになれば最上位格付けやa-1格銘柄の一部を除き、短国との「官民逆転」現象が解消する可能性もあるだろう。発行減少により、レートレンジは縮小しクレジットリスクによるレート差は、ほとんど見られない状況である。

《CPオペ》

CP買い現先オペは、今月19日までの期日分はすべてロールされた。今後も、現先オペは期日継続が淡々と実施されるだろう。

《現先市場》

足元現先レートは0.14~16%でスタートしたがやや低下し、0.12~0.14%の落ち着いた水準で推移している。インターバンク・レポレートにやや影響される地合いもあるだろうが、今後も0.15%割れでの推移が予想される。

参考資料

業種別残高内訳

(単位:億円)

業種	4月末残高	3月末残高	増減
事業法人	65,221	71,736	▲ 6,515
その他金融	56,797	54,070	2,727
金融機関	22,752	23,035	▲ 283
(政府系金融	4,000	3,000	1,000)
(銀行等	8,817	8,581	236)
(証券	9,935	11,454	▲ 1,519)
ABCP	33,861	41,089	▲ 7,228
計	178,631	189,930	▲ 11,299

(注: 買入消却分含む)

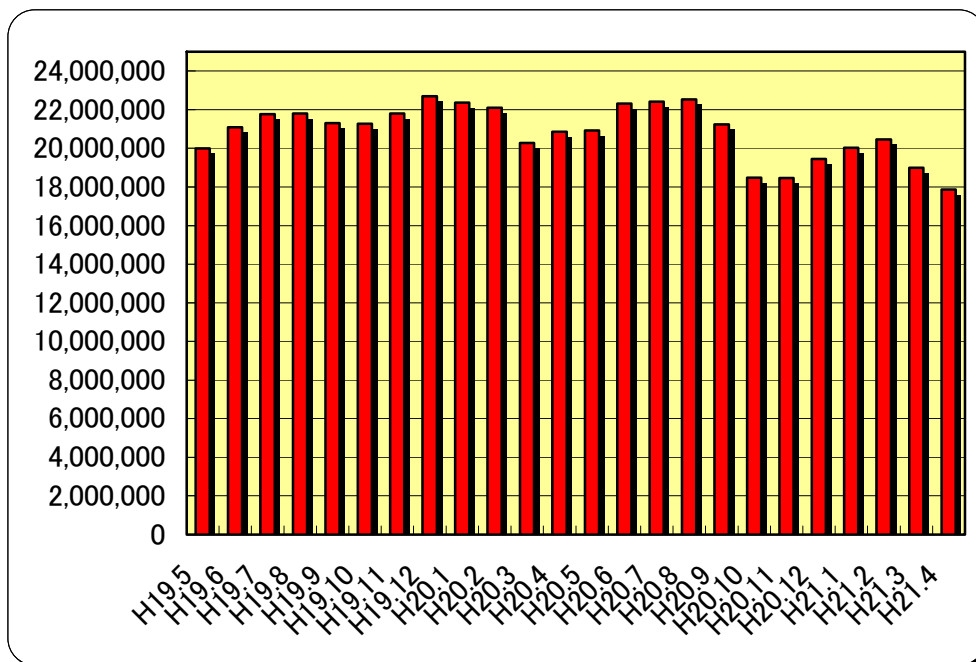
短期社債月末残高 (H19年4月~H21年3月)

■ 短期社債月末発行残高

4月末発行残高: 17兆8,631.30億円

発行登録企業: 488社 (発行実績あり 474社)

(過去2年間の残高を表示)



4 月末発行残高ベスト 20

4 月末発行残高上位 20 社

(単位: 百万円)

	発行企業名	4月末残高	3月末残高
1	三菱UFJリース	905,900	883,900
2	三井住友ファイナンス&リース	818,100	811,600
3	コンチエルト・レシーバブルズ・コーポレーション	689,900	801,490
4	エイパックス・ファンディングコーポレーション	499,700	663,560
5	アルカディア・ファンディング・コーポレーション	490,000	551,390
6	東京センチュリーリース	470,400	179,700
7	日本政策金融公庫	400,000	300,000
8	シャープ	370,000	325,000
9	オリックス	369,200	302,200
10	野村証券	339,500	315,900
11	芙蓉総合リース	318,200	314,100
12	三菱商事	306,000	498,000
13	フォレスト・コーポレーション	299,931	382,768
14	中部電力	268,000	294,000
15	日産自動車	259,000	305,000
16	興銀リース	255,600	235,000
17	三菱UFJニコス	254,500	229,000
18	住友信託銀行	248,100	248,400
19	大和証券SMBC	238,490	320,400
20	新日本製鐵	232,000	146,000

ゴシック文字…前月数値横這いか増加

参考出所 (株) 証券保管振替機構